

質疑

4件の指定管理について議案書だけで、会社の名前とかそれは出ていますが、どういう経過でどういう内容でこれが指定をされたかというのが、この議案書だけでは分からないです。

答弁

議案第99号および議案第100号の指定管理者の指定の公園管理を2分割した理由についてご答弁申し上げます。

現在の公園の指定管理については、91カ所を1つの団体に指定いたしました管理運営をしているところですが、平成28年度に議員各位にお示しいたしました指定管理者制度運用改善に係る検討結果報告書に基づきまして、指定管理者の導入の適否や施設の範囲について見直しをさせていただきました。

公園管理を2分割した理由ですが、異なる指定管理者を指定することにより、複数の指定管理者により、民間のノウハウを生かし、よりよい管理運営となるよう競い合っていたことで業務の効率化と適正な執行が期待され、公園の設置目的が効果的に達成できるとの考えによるものです。

総務常任委員会

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第4号)
(議案第103号)

臨時職員賃金の増額理由は。

答 当初予算を編成する際には、一般事務28名、管理栄養士1名、保育士1名の合計30名で3539万1千円の予算化をした。9月までに1853万9千円の支出があり現在36名を雇用している。

今後、4176万4千円の支出が見込まれるため、その差額分の637万4千円を増加補正するものである。

主に、年度途中で退職したり、出産してそのまま育児休業に入った職員がいるところ、事務処理が一時的に増えたところに措置している。また、単価が、10月以降880円から900円に上がっているの増額の理由である。

問 古川橋仮橋保守事業を債務負担行為にする理由と、供用開始時期は。

答 平成31年度末には、取り付け道路も含めた供用開始が行われる。供用開始と同時に仮橋はなくなるので、その後の撤去費用も含めて、債務負担行為の期間を平成32年度までとしている。

問 保育ステーション建設工事実施設計事業を繰越明許にした理由。

答 当初、自由通路・東口の階段下を建設予定地として二百数十万円を計上した。

その後、東武鉄道との協議をしていく中で、交番裏の土地も使えるとなり、面積も大きく建物自体も大きく出来るということで、今回の設計を増額した。

予算措置が12月で、発注が1月以降になるため、年度内に完了しないことから繰越明許にしたもの。



平成30年度幸手市一般会計補正予算(第5号)
(議案第107号)

問 土地開発公社の借入金と台帳の確認方法は。

答 無利子貸付金と有利子貸付金の二本立てで管理している。確認については、関係帳簿、関係書類をすべてつき合わせている。

本会議でも申し上げたとおり、大変不本意な事務処理をしてしまったということ、今後については、資料に添付するなり、購入金額、購入日時等を示したものを添付するようなかたちで、改善をしていきたい。

問 土地開発公社所有地購入費の財源を財政調整基金の取り崩しで充てる理由と平成30年度末の基金残高について。

答 今回の予算計上が急遽のため、財源がないことから、財政調整基金を使いたいとお願いしている。財政調整基金については、平成30年度当初の基金残高が11億270万円であったが、当初予算で7億6千万円の取り崩しを計上し、9月に3億5千万円積み増ししている。今回の7183万9千円の取り崩しと若干利息を見込み、平成30年度末の残高は6億2137万円を見込んでいます。

文教厚生常任委員会

指定管理者の指定について (議案第102号)

問 今回の指定管理者の応募数はいくつの団体か。

答 現場説明会に参加したのは4団体だが、応募は1団体である。

問 指定管理料の上限額が、前回より減額となっている要因について。

答 指定管理者の自主事業による収入増と、管理費等の見直しにより指定管理料の上限額が前回より減額となったためである。



アスカル幸手

平成30年度幸手市一般会 計補正予算 (第4号) (議案第103号)

問 デマンド交通運行管理業務委託料の減額理由について。

答 デマンド交通運行管理業務委託料の契約において、国の補助金と利用料金の収入があった場合、委託料から差引くということになっているため、また、国の補助金が確定したことから減額となった。

問 保育ステーション建設工事実施設計業務委託料について。

答 当初予算では幸手駅東口エスカレーター下で設計しましたが、東武鉄道より土地を借用して設計を組むために、不足分を補正するものである。

問 学校施設ブロック塀安全対策工事の、学校別の予算について。

答 上高野小学校162万円・長

倉小学校205万2千円である。



上高野小学校ブロック塀

問 幼稚園費臨時職員賃金の増額理由について。

答 特別に配慮を要する園児が本年4月に入園したため、対応する臨時職員を1名増員したためである。

問 公民館費インターネット回線設置工事の内容について。

答 公民館5館の予約を現在、市民文化体育館等の施設で行っている予約管理システムに接続するための回線工事である。

平成30年度幸手市国民健康 保険特別会計補正予算 (第2号) (議案第104号)

問 国民健康保険被保険者の人数について。

答 平成30年4月末の被保険者数が、1万4137人でしたが、10月末で1万3666人と471人減っている状況である。

問 出産育児一時金繰入金額の減額理由について。

答 年度当初は、年間60件で積算したが、今年度の年度当初からの見込みが28件になったことによる減額である。

平成30年度幸手市介護保 険特別会計補正予算 (第2号) (議案第105号)

問 第1号被保険者保険料過誤納還付金の内容について。

答 死亡や転出等により、払い過ぎていた保険料を還付するものである。

建設経済常任委員会

幸手市手数料条例の一部を改正する条例

(議案第96号)

問 審査対象となる事務の内容は。

答 今回の建築基準法第43条の認定事務については、同法の道路に該当しない4メートル以上の道に2メートル以上敷地が接することが基準となっており、4メートル以上の道の状況や2メートル以上接道があるか、また、その敷地に対して、安全上、避難上といった部分で審査するものである。

指定管理者の指定について

(議案第99号)

問 議案の上程までの経緯は。

答 本年4月25日に政策会議で、他の指定管理者も含め、平成31年度以降の公の施設の指定管理者の管理運営について諮った。その中で、公の施設の枠組み、指定期間、候補者の公募の有無、今後のスケジュールについて協議をした。

その後、5月7日に庁議で同事項について決定し、5月25日に議員全員協議会にて「指定管理者の指定について」の枠組みについて報告をした。

この選考にあたっては、外部委員2人を含めた8人による指定管理者検討委員会でプレゼンテーション審査を行い、第1位となった団体を今回議案で上程した。

平成30年度幸手市一般会計補正予算

(第4号)

(議案第103号)

問 勤労福祉会館の公共予約システムの設置に至った経緯は。

答 政策課が中心となって、全庁的に統一する方向で検討に入り、各施設の状況や事情、例えば、電話回線やインターネット回線等が付設されている施設なのも含め、係る対象の施設と協議を行った結果、同時に進めることになり、今回の議案の上程に至った。

問 幸手駅西口土地区画整理事業特別会計繰出金の減額理由は。

答 事業が出来なかったのではなく、事業が確定した結果、例えば入札の執行残や調整して補償額が確定したことによる減額補正である。

問 住宅管理費の修繕料の内容及や市営住宅の空き状況、募集時期は。

答 中3丁目の市営住宅の空室の修繕費2戸分で、内部の壁や天井、建具等の塗装工事、床の改修、電気設備、台所設備、浴室設備などの修繕である。

空き状況は、12月当初で8戸であるが、募集については今回の修繕2戸を含む計3戸について平成31年2月の当初から20日間程度を考えている。

問 農地費の負担金の増額また減額の理由は。

答 県営事業の各市町・土地改良区等の負担金が確定したため、予算額を合わせるために今回増額および減額をするものである。

平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算

(第2号)

(議案第106号)

問 物件移転補償費に関し、現在までの移転対象物件数と移転契約戸数は。

答 要移転戸数が12件で、移転率は46・2%である。一部、ブロック塀やカーポート・浄化槽等だけの対象となる方もいる。また全面的に立て直す方は、現在2件が、もうすぐ建て終わり、住み始められる状況である。移転契約戸数はその建物と同じ位置での補償を除いた郊外移転が平成27年度は3件、平成28年度は4件、平成29年度は5件で合計12件である。



市営住宅